

キエフ・クラシック・バレエ

2017年に日本全国120公演以上に渡るツアーを敢行してから毎夏、その親しみやすいパフォーマンスで好評を博してきたキエフ・クラシック・バレエ。パリ、ロンドン、ローマなどでも大絶賛のバレエ公演が、日本の秋に芸術を届けにやってきます。

ついに2022年は、クラシック・バレエの頂点に君臨する作品、「白鳥の湖」が全幕で登場!

いつの世も変わらず愛され続ける「白鳥の湖」は、チャイコフスキーが初めて作曲したバレエ音楽でした。儂くも美しい白鳥たちの湖畔のシーンや、あまりにも有名な4羽の白鳥のメロディ。そして、オデットとオディールの相対する宿命…まさに繊細で華やかなバレエ芸術の代名詞でもある作品です。バレエを知らずとも、誰でも楽しめる本作。ダンサーたちの作り出す、その時だけの一瞬の芸術を味わいに、ぜひ劇場へ!

白鳥の湖 全2幕

本プログラムは小さなお客様も飽きずに楽しめるよう、全2幕(約2時間/休憩1回)構成となっております。

第1幕

成人を迎えた祝いに、森へ狩りにやってきたジークフリート王子とその一行。立派な大人となったジークフリートは、宮殿で開かれる舞踏会で花嫁を選ぶように言われているが、どうしても気が乗らない。物憂げな彼は、一行の賑やかな雰囲気をもよおして一人森の奥へと入っていく。

静まりかえった水面に月の明かりが映える湖のほとり。そこでジークフリートは、とても美しいオデット姫に出会う。オデットは悪魔ロットバルトの魔法で白鳥に変えられ、夜の間だけ本当の姿に戻ることが出来る。オデットの魔法を解くことが出来るのは、まだ愛を誓ったことのない青年の真実の愛。ジークフリートはオデットに愛を誓うと約束する。

第2幕

宮殿では舞踏会が開かれ、花嫁候補が踊りを披露している。しかし、オデットを忘れられないジークフリートは、どの花嫁候補の踊りにも心が動かない。すると突然、新しい客の到着を告げるファンファーレが鳴り響く。ジークフリートの前に現れたのは、悪魔ロットバルトと、その娘オディール。オデットと同じ姿のオディールを見て喜んだジークフリートは、間違えて愛を誓ってしまう。ロットバルトとオディールの高笑いに過ちに気が付き、オデットを求めて森に入っていく…

湖のほとりでは、裏切りを知ったオデットと白鳥たちが嘆き悲しんでいる。そこへ、全てを知ったジークフリートが現れ、ロットバルトと対峙する。真実の愛の元に許しを得たジークフリートは、オデットと力を合わせて悪魔に立ち向かい、ついにその力の前に悪は滅び去る。

キエフ(キエウ)・クラシック・バレエ Kyiv Classic Ballet

1982年設立のキエフ市立アカデミー・オペラ・バレエ青少年劇場バレエを母体とするバレエ・カンパニー。青少年劇場というのは、世界的にみても数えるほどしかなく、ウクライナではこの劇場が一番最初に設立され、現在に至るまで国内唯一の存在となっている。

上演する作品はどれも幅広い年齢層の観客を魅了する作品に仕上がっており、両親や祖父母に連れられて劇場にやってくる若い観客たちをはじめ劇場に来るすべての人々が楽しめるように工夫がほどこされている。また国内の様々な劇場からたびたびゲスト・ダンサーを迎え、所属劇場や街の垣根を越えて素晴らしいアーティストが集っている。地位やキャリアのみに縛られず、努力が認められる環境においてエネルギーとやる気に満ちた若いメンバーが舞台上に立っている。これまでに、ドイツ、イタリア、スペイン、フランス、ポルトガル、イギリス、スイス、スロベニア、ユーゴスラビア、オランダ、日本、韓国、カナダ、南アメリカなどで公演を行っており、世界中にバレエ芸術の素晴らしさを伝え続けている。

主な来日予定ソリスト



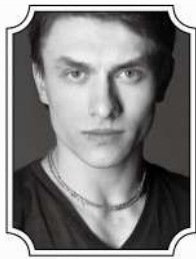
長澤美絵



クリスティーナ・カダシェヴィチ



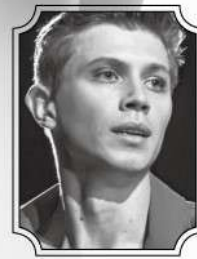
マリア・シュビロワ



オレクセイ・ニヤズロフ



フェディール・ザロディシエフ



エフゲニー・ペトレンコ

※ルネこだいらでは、新型コロナウイルス感染症対策を実施しています。

ご来場の際は、必ずホームページで注意事項や公演の最新情報をご確認ください。

※公演実施の場合、チケットの購入後のキャンセル・変更はできません。

※開演時刻を過ぎますとご入場をお待ちいただく場合があります。

※写真撮影、録音、録画は固くお断りします。



ルネこだいら

ルネこだいら
小平市民文化会館

小平市民文化会館

▼ルネこだいらHP

〒187-0041 東京都小平市美園町1-8-5

TEL: 042-345-5111

ルネこだいらチケットカウンター ☎042-346-9000

電話予約 9:00~17:00 窓口販売 9:00~19:00

